

# 今すぐ使える熊本日本語

～平成26年度

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業  
地域日本語教育実践プログラム(A)～



熊本県立大学

日本語教育研究室

福島奈緒美 馬場良二

# 日本語を勉強する

仲良くする

今すぐ使える  
熊本日本語

5月

したく  
人材養成  
支援する人

6月

出  
会  
い  
の  
場

おこない  
日本語教育  
支援を必要とする人

7月

10月

2月

# 基本的スタンス ～この意見に賛同しました～

「～10年以上も滞在する人々の中にあいさつ程度の日本語もおぼつかない人がいるのも事実である。それは、日本人と接する機会がほとんどなかったか、または、**接触を試みる「親切的な」日本人がいなかった**ことを意味する。

(中略)地域日本語教育は一部の専門家やボランティアが担うものではなく、**「生活者としての日本人」**が一人でも多くかかわることによって**多文化共生社会を実現する推進力となるものである。」**

米勢治子(2010)

「地域日本語教育における人材養成」、『日本語教育』144号,p61-72

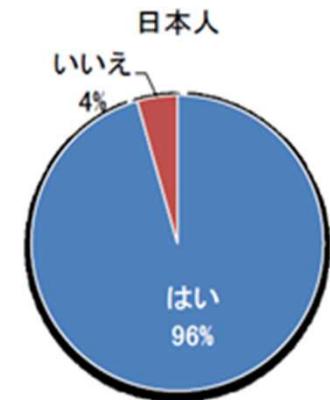
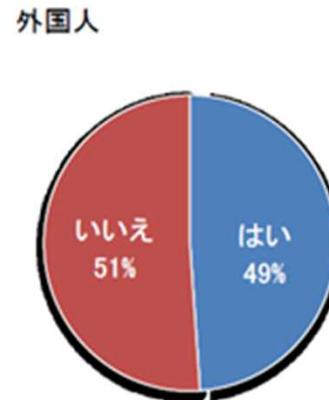
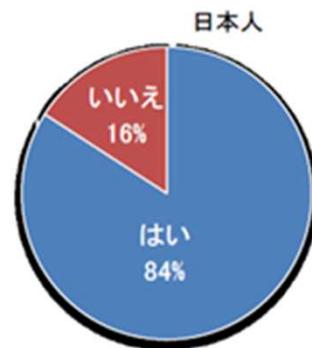
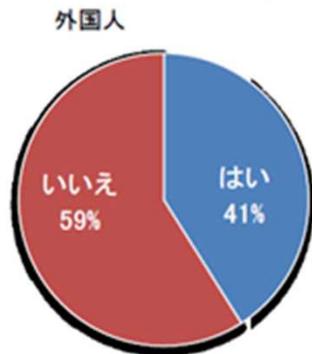
# 熊本県の「生活者としての外国人」

・熊本では・・・

集住地域 < 散在地域 ⇒ 情報弱者になりやすい

避難ルートや避難場所を知っているか

震災、台風などに備えているか



(平成25年度 熊本県立大学地域貢献研究事業「熊本県の多文化共生社会づくりのための調査と事業立案」成果報告書 より引用)

⇒ この現状を少しでもよくし、多文化共生社会を進めることが、本事業の目的である！

# 生活日本語教材 「今すぐ使える熊本日本語」①

- 熊本県立大学 日本語教育研究室
- 熊本市国際交流事業団

生活者としての外国人が熊本での生活で困っている  
ことを調査し、作成（本事業では20時間用に改訂）

「隣に住んでいる外国人と日本人が交流しながら学べる教材」



この教材を知り、賛同して**多文化共生社会を進めら  
れる人材育成が必要**

# 生活日本語教材

## 「今すぐ使える熊本日本語」②

### 市電の乗り方 *Shiden no norikata*

① 行き先を見る *Ikisaki o miru*



↑ 前、後ろ Mae, ushiro      横 Yoko →

行き先は、前、後ろ、横に書いてあります。( )

*Ikisaki wa, mae, ushiro, yoko ni kaite arimasu. ( no tokoro )*

### アレルギー食品一覧 *Food allergy list*

卵 Egg	乳 Milk	小麦 Wheat	そば Soba
落花生 Peanut	かに Crab	えび Shrimp	

牛肉 Beef	鶏肉 Chicken	豚肉 Pork	卵 Abalone
いか Squid	鮭 Salmon	鯖 Mackerel	いくら Salmon eggs

ゼラチン Gelatin	りんご Apple	オレンジ Orange	キウイフルーツ Kiwi
バナナ Banana	もも Peach	まつたけ Matsutake	山芋 Yam
大豆 Soybean	くるみ Walnut		



私はアレルギーで、  
*Watashi wa ahenkyuu de.*  
 \_\_\_\_\_ が食べられません。..  
 \_\_\_\_\_ ga tabecazemasen..  
 私は \_\_\_\_\_ がアレルギーです。..  
*Watashi wa \_\_\_\_\_ ahenkyuu desu.*  
 この料理には、  
*Kono ryouri niwa,*  
 \_\_\_\_\_ が入っていますが、..  
 \_\_\_\_\_ ga haiteimasuka..

# 多文化共生人材 養成講座①

<計30時間の養成講座>

『教材の使い方』『地域日本語教室のあり方』『多文化共生について』

多文化共生に関して学んだ「生活者としての日本人」



次の「生活者としての日本人」



散在地域の情報弱者となっている  
「生活者としての外国人」との交流に  
まで届ける

# 多文化共生人材 養成講座②

## ＜養成講座参加者 募集＞

自治体や教育機関に多文化共生への理解を深めてもらう

⇒市役所、区役所、町役場、外郭団体の職員、小学校教員の応募が多数・・・全体で30名以上の応募

⇒「これまで日本語教育に携わった経験がない方」

「一年間の全日程に参加できる方」・・・ 11名で開始

## ＜講座内容＞

『熊本の在住外国人の現状』熊本市国際交流事業団 八木事務局長  
その他『日本語教育と国語科教育の違い』『やさしい日本語って?』等

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」①

3期設定： 1期につき 週2回2時間ずつ(火・土)  
計10回 20時間

～第一期～ 7月～8月実施

主な外国人参加者： 中国人帰国者とその家族の方  
留学生の家族の方  
フィリピン人の奥様と家族の方

特にフィリピン人コミュニティーで口コミで評判が広まり  
①5～7名……⇒ ⑩20名以上 と増えていった。

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」②

\* 印象的な外国人参加者のみなさん

Aさん、Bさん : 1、2回 しか参加できなかった

理由「仕事の事情」、「教室までの足」

Cさんファミリー: 父(日)、母(フィ)、来日直後の子ども  
家族5人で毎回参加

⇒ご主人や周りの協力により、日本語や日本事情を身につける時間、日本人や外国人 みんなとの交流の時間を  
持てるか持てないか 決まる

**家族や周りの協力の重要性**

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」③

＜教室の内容 いつもの流れ＞

・おしゃべり



・数字、数量詞について みんなで練習



・テキストを基に、日本語会話や日本事情を学ぶ  
(お互いの国の事情についておしゃべりしながら)



・みんなで交流

※外国人参加者と日本人参加者がペアで参加している

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」④

\* テレビや新聞を通して、

○生活者としての外国人はどんなことに困っているか

○多文化共生社会とはどんな社会か

を、県民の皆さんに知ってもらうことができた。

RKK『夕方いちばん』の映像を見てください！

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」⑤

### \* 第一期参加者のみなさんの感想

#### <外国人>

- 先生もみんな親切で熱心で、いい教室だった
- 自分の日本語はまだ下手で話せなかったが、日本人のみなさんが一生懸命聞いてくれて、うれしかった
- テキストがとてもよかった
- 本当に自分に必要な会話がなくて、よかった
- 自分にはちょっと難しかった
- 文字を書く練習がしたかった

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」⑥

### \* 第一期参加者のみなさんの感想

#### <日本人>

- 回を重ねるにつれて、みんな会話活動が上手になっていった
- おもしろかった
- どうやって交流したらいいか、いいヒントをもらった
- 今のままの日本語(外国人参加者と話したり、わからない日本語を説明するときの)では駄目だということがわかった。第二期にはどうすればいいのか、勉強したい

# 日本語教室

## 「今すぐ使える熊本日本語」⑦

＜第二期の様子＞

内容は第一期と同じ

日本人参加者のテキスト担当も同じ

継続参加者 約10名

新規参加者 約10名(順不同)

- ・パキスタン ・マリ ・アメリカ ・イギリス ・中国帰国者
- ・フィリピン ・ バングラデッシュ

# 今後の課題

## ① 外国人参加者の多様化への対応力

ニーズの多様化

生活様式、宗教の多様化

第一言語の多様化

## ② 日本人参加者の日本語トレーニング

自然に沸き起こった「やさしい日本語」(広義)を学びたいという気持ちに応えるか

# 大切なこと

「教えない」「先生にならない」

一番大切にするのは、「仲良くする関係性」

気軽にわからないことを聞いて、気軽に相談する関係性



教師—学習者~~の~~上下関係

ありがとうございました



日本語教育の様子